

遠赤外線精密恒温炉

- Ⓔ Excellent technology
- Ⓔ Engineering
- Ⓔ Electronics
- Ⓔ Ecology

4e innovated
the heating process

遠赤外線と熱風循環を併用したオープンです。遠赤外線を吸収しやすい高分子材料等の加熱において、大幅な処理時間の短縮が可能です。また、遠赤外線・熱風循環はそれぞれ単独でも使用可能なため、応用範囲の広い熱処理装置としてご使用いただけます。

使用温度： R.T. +10~360 °C

温度精度： ± 3 °C (at 360°C 熱風) 循環

加熱方式： 遠赤外線加熱+熱風循環

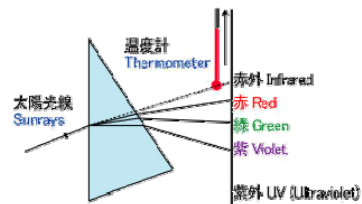
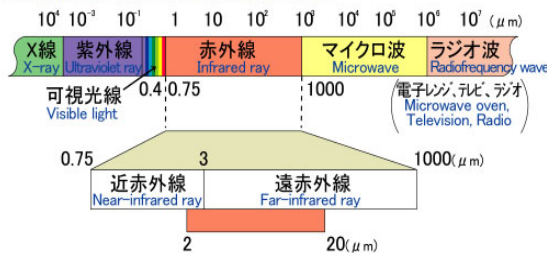


<遠赤外線とは？>

光・電磁波の一種である遠赤外線のなかで、特に5.6 μm~1000 μmの波長領域にあるものを遠赤外線と呼びます。水、プラスチック、塗料、食品などは、吸収波長領域が2 μm~20 μmの間にあるものが多いため、遠赤外線はこれらに熱を良く伝え、浸透させるという性質をもっています。

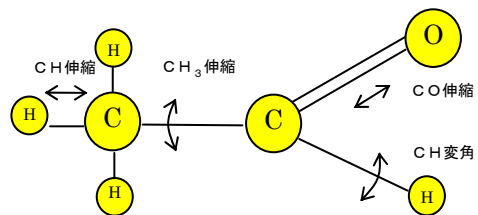
加熱乾燥に有効利用される波長領域

Wave lengths used for effective at heating and drying



<遠赤外線による加熱原理>

物質を構成する分子は全て複雑な分子運動をしており、分子運動のはげしいものは温度が高くなっています。この運動の振動周波数に一致した電時波が物質に照射されると、物質はこの電磁波を共鳴吸収してより激しい振動を起こし、温度を上昇します。



高精度な温度制御と幅広い温度範囲に対応し、様々な加熱、試験に適用できます。

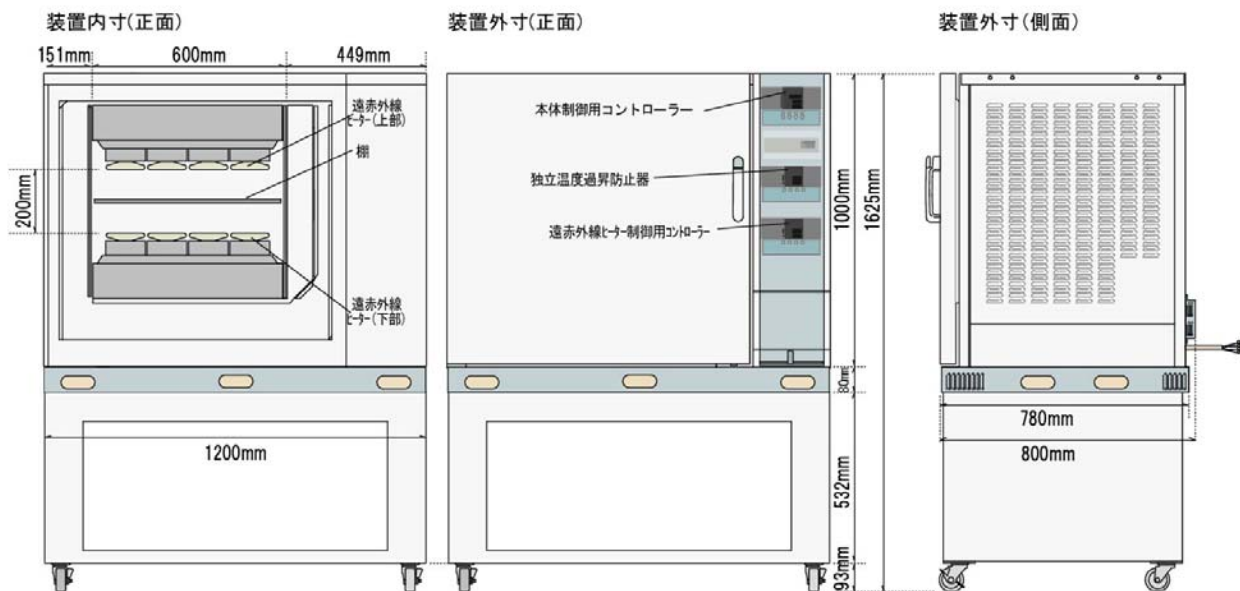
<CLB-DIR631型>

■仕様

■型式	CLB-DIR631
■方式	遠赤外線加熱+熱風循環
■性能(無負荷状態)	
使用温度範囲	室温+10~360℃
温度調節精度	±0.2℃(at 360℃、遠赤外線ヒーターOFF時)
温度分布精度	±3℃(at 360℃、遠赤外線ヒーターOFF時)
最高温度到達時間	約100min (to 360℃、遠赤外線ヒーターOFF時)
■構成	
内装	ステンレス鋼 SUS304
外装	冷間圧延鋼板 メラミン樹脂焼付け塗装
断熱材	セラミックファイバー
ヒーター	遠赤外線セラミックヒーター PLC-322 (0.2kw×16枚×上下2面 計6.4kw) 熱風用ヒーター フィン付ステンレスパイプヒーター 3.75kw
送風機モーター/ファン	コンデンサ形モーター 20W+軸流ファン
■コントローラ	
温度制御方式	本体制御、遠赤外線ヒーター制御ともPID制御
運転機能	定置運転、クイックオートストップ、オートストップ、オートスタート
付加機能	キャリブレーションオフセット機能、キーロック機能、停電補償機能、ドアスイッチ
■安全装置	
	漏電ブレーカー:漏電、短絡、過電流保護 過昇防止装置:温度加熱時ヒーター遮断 自己診断機能:温度センサ異常、ヒーター断線、SSR短絡、自動過昇防止機能

■寸法、ユーティリティー

■型式	CLB-DIR631
■規格	幅×奥行き×高さ
内寸法(mm)	600×600×600
外形寸法(mm)	1200×780×1625
電源(200V)/電流(A)	3相 200V 50/60Hz 34A
重さ(約kg)	約230kg



※本資料に記載の内容は製品改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。

株式会社ノリタケカンパニーリミテド
 ■ヒートテクノ事業部
 〒451-8501名古屋市西区則武新町3-1-36
 TEL052-561-9878 FAX052-561-6557
 ■東京営業所
 〒107-8413東京都港区赤坂7-8-5
 TEL03-3588-1530 FAX03-3588-1533
<http://www.noritake.co.jp/>